

かかりつけ医をお持ちください

地域連携・がん相談支援センター

師長 湯瀬 美佳子

当院の医事課受付や外来、病棟でポスターをお目にされていると思いますが、少しご説明させていただきます。当院は平成 22 年に「地域医療支援病院」の承認を受けました。地域医療支援病院って何？と思われると思いますが、これは「地域の病院・診療所などを後方支援するという形で医療機関の機能の役割分担と連携を行う」ことを目的に平成 8 年に始まった制度です。当院は当地域の中核的な急性期病院として、地域の病院・診療所と連携して患者さんに専門的な治療・検査、入院診療に重点を置くこと、つまり一般の医療機関では実施することが難しい手術や先進医療・高度医療などを必要とする患者さんの治療を行うことを役割としています。また、診断が確定し治療が終了した場合や病状が安定した場合には、地域の医療機関にご紹介させていただくなど、患者さんにとってより身近な医療機関で安心して医療を受けていただけるよう、逆紹介の推進も行わなければなりません。外来診療時に医師から突然地域の医療機関を紹介される事もありますが、決して見放すわけではありません。急に言われて困惑される事もあると思います。ご不明なことがございましたら、1階受付の「患者相談コーナー」にてご相談下さい。地域連携・がん相談支援センターのスタッフが対応させていただきます。

また、当院を初めて受診される場合は、紹介状をご持参下さい。紹介状をご持参いただくメリットは、

- ・初診料加算額のご負担がありません。(当院は 3,240 円をいただいております)
- ・医師がこれまでの診療の経過を正確に把握できます。
- ・検査や投薬などの重複を避けることができる

ため、医療費の負担が少なく済む場合があります。もちろん、緊急性のある病状につきましてはその限りではありません。

急性期病院の外来は大変混んでおり、予約を取っていてもお待たせしている現状です。病気のことでなくいろいろな面で相談できる、かかりつけ医（ホームドクター）を見つけて下さい。急性期病院での検査・治療が必要となった場合は、かかりつけ医から紹介していただく方が診療がスムーズです。その際当院の地域連携室にご連絡いただきましたら、事前に受診予約ができますのでかかりつけ医にお申し出下さい。

ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

外来診療の紹介と逆紹介体制を強化致します。

KOCR 札幌医療センターは当地域の中核的な急性期病院として、平成 22 年に「地域医療支援病院」の承認を受けました。そのため、当院では主に「かかりつけ医」からの紹介を中心とした専門的治療・検査、入院診療に重点を置いて参りますのでご協力をお願いします。

- 具合が悪い時にかかれるお近くの「かかりつけ医」をお持ち下さい。**
病気の悪化やより詳しい検査が必要になった場合は「かかりつけ医」が病院に紹介状を出し、より高度な検査や治療を提供させていただきます。
また、当院での治療により病状が安定した患者さんは「かかりつけ医」に逆紹介させていただきます。その際は当院での治療経過や検査結果などを記載した診療情報提供書をお渡し致します。
当院「地域連携室」より「かかりつけ医」を紹介させていただきますのでご相談下さい。
- 当院を初めて受診される患者さんは、厚紙として紹介状をお持ち下さい。**
紹介状を持たない患者さんはお近くの医療機関を紹介させていただく場合もあります。ただし、緊急性のある病状につきましてもその限りではありません。また、健康診断で「要精密検査」とされた結果をお持ちの方は紹介状がなくても構いません。
- 紹介状をお持ちの患者さんは、事前に受診予約ができますので、かかりつけ医にお申し出下さい。**

地域連携・がん相談支援センター / 地域連携室